

通 信 制

人間総合科学大学

UNIVERSITY OF HUMAN ARTS AND SCIENCES



Knowledge for well-being よりよく生きるための知恵

未来のための“生きる力”と

社会のために“活かす力”を

こころ、からだ、文化のつながりから学ぶ

—人間とは何か—

本冊子は大学の概要紹介となりますので、詳しくは本学ホームページをご覧ください

<http://www.human.ac.jp/>

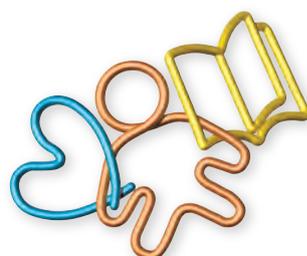
人間科学部 心身健康科学科〔通信制〕

GUIDEBOOK

Knowledge for well-being

よりよく生きるための知恵を学ぶ

人間の本質を学ぶこと＝社会を生き抜く力を養うこと
こころ・**からだ**・**文化**の総合的学び



本学は、人間を「こころ」・「からだ」・「文化」の3領域から追究し総合的に理解するという、これまでにない学修体系を切り拓きました。学びの目的は、学んだ知識を「よりよく生きるための知恵」として育て、複雑な問題をはらむ現実の社会と向き合う力を育むことにあります。新たな角度・視点で人間を見つめる多様なカリキュラムを通じて、人間の本質を見極める視線を養うことができます。

こころ

Mind



精神分析やカウンセリングの理論と実践を取り入れ、脳科学・心理学の成果を通して、人間心理の奥底を理解する。

からだ

Body



生物としてみた身体の機能や構造を生理学、保健学を土台に学び、広くからだ・保健について理解する。

文化

Culture



人間が築き上げてきた文化・文明・芸術・宗教などの諸相を、学際的に理解する。

注目

学部そして大学院へ。心身健康科学を基軸に各自の関心を深く探究できる。

こころとからだの相関から、人間をより総合的に、統合的に理解する心身健康科学は本学科のカリキュラムにおいて基軸となる学問(学修)です。学問を生活や職業で使える知恵として活用できることを探究します。さらに探究を深めたい方は、日常の知恵を学問へと昇華させる大学院での学びを目指すことも可能です。

認定心理士の他、心身健康レクリエーターなど取得可能資格が多数

心身健康レクリエーターや心身健康アドバイザー等、他では学ぶことができない資格も取得可能。人気の認定心理士や養護教諭と併せて取得することもできます。

※2年間では不可。3年必要。



学びやすい学修システム

日本全国の方々が学士(人間科学)や資格の取得、将来ビジョンの実現までさまざまな目的をもって学んでいます。

時間も場所も自ら選ぶ、そして自由に学ぶ

インターネットで学べる大学

本学のスクーリング履修は、いつでも何度でも皆さんの予定や都合に合わせて受講することができます。テキスト履修も自宅に居ながらにして受験でき、試験ごとに大学へ来校するという負担がなくなります。仕事や家庭と両立させながら自分のペースで自由に学修することが可能です。

無理なくゴール(卒業)まで行き着くために

自由度の高い履修スタイル

英語や体育、卒業論文といった単位取得が困難な科目を必修とはしないことで、より卒業しやすくなっています。好きな科目、得意な科目を多くして、嫌いな科目、苦手な科目を少なくすることが可能です。なお、自由度が高過ぎて迷われる人には目的(プラン)に合わせた履修モデルからの選択や担任の先生に相談をすることもできます。



予期せぬ出費で学修がストップしないように

安心の定額制授業料

人間総合科学大学の正科生授業料は安心の定額制です。翌期に再受講しても、スクーリングで何科目受講しても年間の費用は変わりません(前期・後期合わせて48単位まで履修可能です)。授業料は半期ごとの支払いとなりますので、一度の出費を軽減することができます。

◆ 定額制授業料(正科生)



1単位あたり **5,833円**

*1年間の正科生授業料(年額280,000円)と年間履修可能な48単位から算出。

再受講などの際も追加費用ナシ!

*入学検定料・テキスト代・実習費用は別途。
*システム管理・維持費(半期5,000円)は別途。

カリキュラムを受け身で学ぶのではなく、科目を“自分で選べる”

100以上の科目とオリジナルテキスト

自分の興味や関心に合わせて自由に科目を選択できるように、100科目以上の多彩なカリキュラムを用意しています。また、科目担当教員が通信教育用にオリジナルテキストを開発。テキストは、自学自修の学びを丁寧にサポートできるように、理解度や達成度に合わせて段階的に学べる構成になっています。

目標や学修環境に合わせて

一人ひとりの成長を支える担任制度

学生一人ひとりをきめ細やかに支援するために、通信制でありながら「担任制度」を採用。インターネットや面接などで、学修面の困ったことやわからないことを気軽に相談できます。また、各科目の質問には当該科目の教員が本学独自のポータルサイトを通じて丁寧に回答します。その他にも、学修や提出物が滞っている場合などは事務スタッフが相談にのり、アドバイスも行っています。



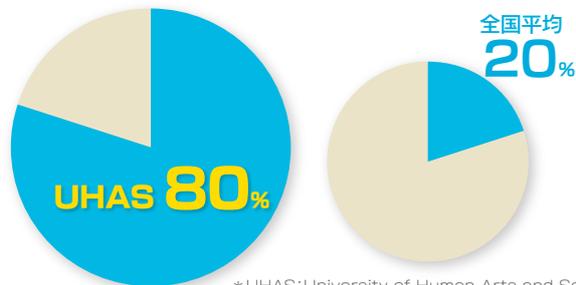
目標達成への信頼と安心の実績

全国平均を大きく上回る卒業率

本学は通信制大学の中では毎年トップクラスの卒業率を誇ります。それを可能にしているのが、学生の学びやすさを追求し、継続学修を実現した学修システムです。スクーリング授業のほか、特定日を設けず一定期間内で自由に受験できる科目修了試験、学ぶ意欲をサポートする担任制度など、貴重な時間や学費をムダにせず、卒業まで学修をやり遂げられる環境が整っています。

◆ 通信制 卒業率

※文部科学省「平成28年度学校基本調査」より



*UHAS: University of Human Arts and Sciences の頭文字で、人間総合科学大学の英語名。

人間総合科学大学
で目指せる資格

養護教諭
一種免許状

看護師・保健師
養成所専任教員

認定心理士

社会福祉主事
(任用資格)

心身健康
アドバイザー・
レクリエーター

学士

正科生は卒業と同時に
「学士(人間科学)」の学位が授与されます

大学改革支援・学位授与
機構への学位申請

看護師、はり師、きゅう師、理学療法士、作業療法士、栄養士のいずれかの基礎資格をお持ちの方は本学卒業後に学位授与機構に学士の申請を行うことができます。

こころ・からだ・文化 3つの領域を学び、人間の本質を理解する

学長メッセージ

「学ぶ」「知る」という行為は、人間のDNAに刻まれた 「よりよく生きよう」とする本質



人間総合科学大学 学長
人間総合科学研究科長

久住 武

医学博士・臨床心理学修士

Profile

昭和大学病院耳鼻咽喉科兼担助手、同医学部リハビリテーション医学
診療科特任講師、人間総合科学大学鍼灸医療専門学校非常勤講師

今、私たちの社会は、さらなる経済の発展、人やモノの移動のボーダレス化、そしてAI時代に向けての第4次とも呼ばれる技術革命に向かっています。その真っ只中で私たちは、豊かな生活を享受し、健康の水準も昔に比べはるかに向上しています。一方、日本では少子高齢社会の到来による深刻な人口減少や、24時間社会が招いた生活習慣病あるいは「こころ」の病に悩む人が急増しています。また食品の安全問題や新興・再興感染症の発生など人々の健康を脅かす多様なリスクも生まれています。

本学は、人間とは何か、生命とは何か、健康とは何かという、人間の本質を探究するための「人間総合科学」を体型化して、人間の全体像を“こころ”“からだ”“文化”の3側面から総合的・系統的にとらえることを全学共通の教育理念としています。

心身健康科学科は、2000年の大学創設時に開設された通信教育課程の学科です。この心身健康学科には、医療系を中心に様々な仕事を持つ、多くの社会人が学んでいます。そして、本学で学ぶ学生さんは、仕事をしながら「学ぶ」「知る」という行為への強い動機を持っています。この動機こそ、実は、私たちのDNAに刻まれた、人間らしく生きようとする意思から発せられるエネルギーにほかなりません。皆さんの、よりよく生きようとする意思を本学科で満足させてください。

人間総合科学 心身健康科学研究所

本研究所では、人間を取り巻く環境の変化(刺激)が脳、自律神経、運動神経を介してこころやからだ、さらには行動にどのような影響を及ぼすのかを研究・探究しています。

本研究所は、人間総合科学、心身健康科学の学問の発展をリードする重要な拠点として機能し、学問の開拓と普及に寄与しています。研究成果を学術団体などを通して国内外に発信するだけでなく、教材や教育プログラムの開発も行っています。さらに、学部・大学院教育との連携

や日本心身健康学会との共同研究等を図り、心身の相関を科学的に解明する実験研究や、地域や職場、学校、家庭をフィールドとする調査研究も実施しています。

通信制大学で初めて学ぶ方へ

Q 高校(または専門学校など)を卒業して20年以上経っています。大学の勉強についていけるか不安です。

A 本学へは毎年、10代から70代の方まで幅広い年齢の方々が入学しています。何十年も勉強から離れていたシニア層から若い世代の方まで学修できるシステムを構築してサポートしています。学修をサポートする担任制度や、必修科目が少ないカリキュラム(英語や体育も必修ではありません)、問題集を解くような感覚で学修を進めることができるテキスト課題集は、その一例です。本学の卒業率は毎年約8割と通信制大学ではトップクラスです。多くの方が入学時は同様の不安を抱えていたと思われそうですが、最終的には立派に卒業されています。ご安心ください。

Q 不規則な仕事のため、スクーリングに出席できるか心配です。

A 大学を卒業するには、1年次入学の場合は30単位以上、3年次編入学の場合は16単位以上を、スクーリング履修で単位修得する必要があります。ただし本学では、総合演習を除いて、卒業に必要なスクーリング履修単位は全てインターネット授業によって修得することができます。24時間いつでも、ご自身の都合に合わせて受講できますので、仕事や家庭と両立させて学修を進めることができます。また、スクーリング履修は科目によってインターネット授業と会場スクーリングが選択できますので、日程の都合が合う科目は会場スクーリングへ出席していただくこともできます。

Q パソコンがあまり得意ではありません。大丈夫ですか。

A インターネット授業やインターネット試験、インターネットでのさまざまな申請は、わかりやすい本学専用のサイトから行っていただけます。クリックで選択する形式が多く、特に複雑な操作はありませんが、以下のような基本的な操作は必要となります。

- ① インターネットに接続し、メールの作成・送受信ができる。
 - ② ワードとエクセルで基本的な文字入力作業ができる。
- 本学のシステムの詳しい操作方法に関しては、在学生向けの専用サイトに図解入りのマニュアルがありますので、手順通りに操作していただければ大丈夫です。それでも不明な点がある場合は、事務局に直接お問い合わせいただければ、ご説明もいたしておりますのでご安心ください。
- なお、受講に必要なパソコン環境に関してはP.12でご確認ください。

Q 卒業論文はありますか？

A 従来の卒業論文という科目はありません。卒業試験として総合面接試験や卒業論文を課す大学があると思いますが、本学では4年次に「総合演習」というものを実施しています。担当の指導教員が「総合演習」の指導を丁寧に行い、皆さんの卒業をサポートします。この演習は、2つの科目からの選択制です。ひとつが『人間総合科学の理解』という科目で、それまでの学修の総まとめのために、レポートを年間4回提出します。もうひとつが『人間総合科学の探究』という科目で、本学卒業後に「大学改革支援・学位授与機構」に学士申請を考えている方や、また大学院への進学を希望するなど論理的思考力向上を目指す学生さんにとって最適の科目で、1年間の指導を通して論文を仕上げるといえるものです。事務局には総合演習のサポート係が置かれています。ほかにもさまざまなサポート体制により本学の卒業率はトップクラスとなっています。

Q 勉強の仕方がわからないときや困ったときに、相談する窓口はありますか？

A 本学では通信制大学では珍しく、担任教員が各学生につきまします。学修の仕方や進め方で困ったことがあれば、インターネットを利用し、本学専用サイトからいつでも相談が可能です。各科目のわからない所も同サイトから科目担当教員に直接質問することができます。

Q 看護専門学校を卒業しています。学士(看護学)の申請を希望していますが、学士申請プログラムと3年次編入学とでは、どんな違いがあるのでしょうか？

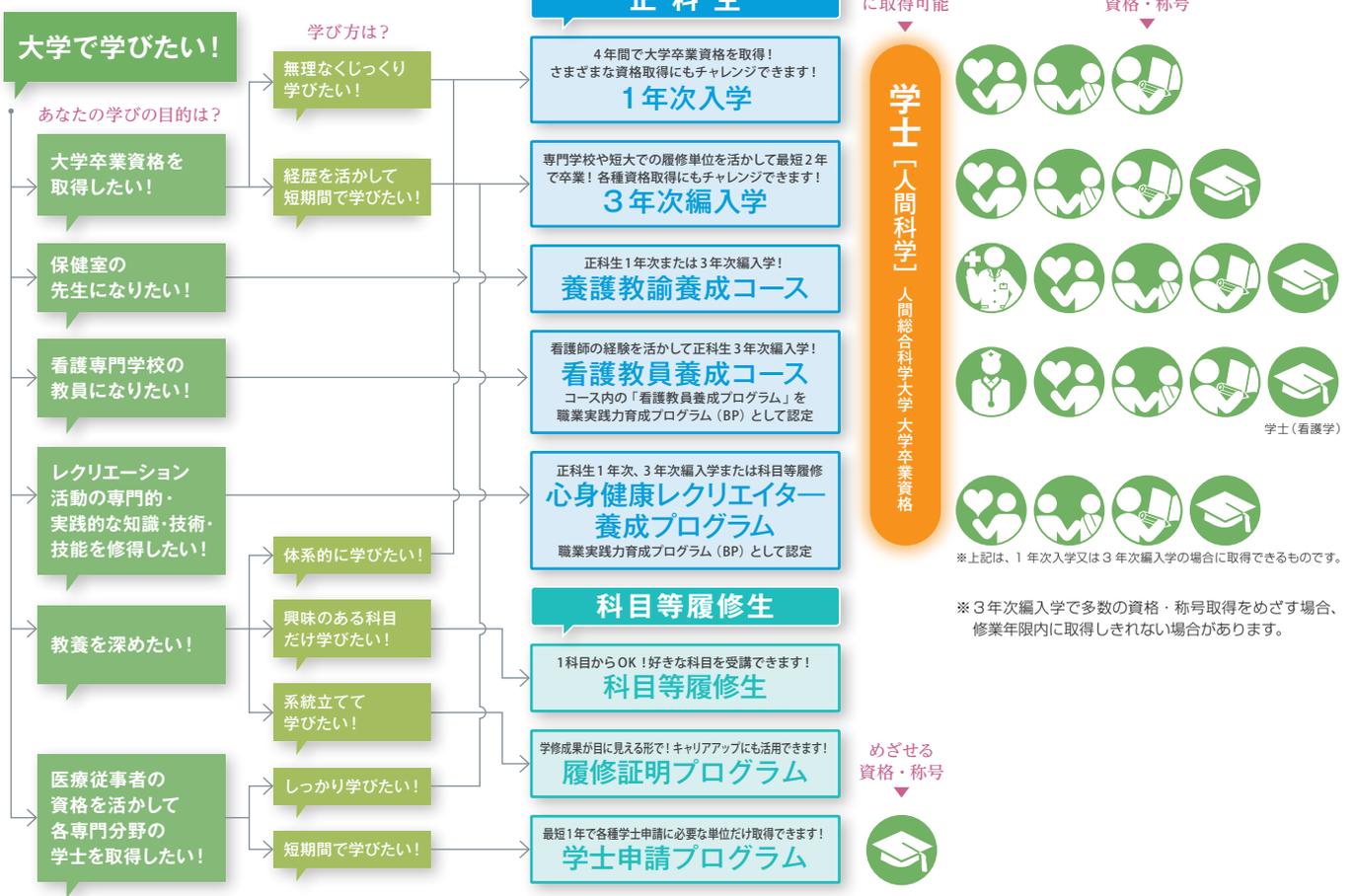
A 学士申請プログラムとは、3年制以上の医療系の短大や専門学校を卒業(修了)した基礎資格を有する方が、1年間で申請に必要な単位のみを修得することで、本学卒業後に大学改革支援・学位授与機構へ学士を申請することを目指すプログラムです。同機構が審査する「学修成果」については当プログラムでは、その作成サポートは含まれません。学修成果は原則として該当学位を授与する大学の卒業論文と同じレベルが要求されています。

3年次編入学は基本的に大学卒業資格の取得を目指すものですが、本学では総合演習が必修となっているため、それを土台に機構への「学修成果」を作成し、専門学位も併せて取得している卒業生が数多くいます。教員の指導の下で1年間にわたって研究・考察・執筆しますので、レベルの高い学修成果が作成できます。

あなた自身が学びを選ぶ。だから、成長のチャンス逃さない

本学では、一人ひとりが自分の目的やライフスタイルに合わせて、自由に学修コースを選択することができます。自分に合う方法で学修できる、だから学びを継続して着実に成果にすることができます。

■ 学びのスタイル フローチャート



アイコンの説明

- 養護教諭 一種免許状
- 看護師・保健師 養成所専任教員
- 認定心理士
- 社会福祉士 (任用資格)
- 心身健康 アドバイザー
- 学士 看護学・保健衛生学・鍼灸学・栄養学

正科生 ————— 大学卒業資格を目標に学びたい方に

本学の通信教育課程での学修は「テキスト履修」(印刷教材による授業)と「スクーリング履修」(インターネット授業または会場スクーリング)の組み合わせで進めていきます。最短4年間で124単位以上の授業を履修(3年次編入の場合は2年間で62単位以上。総合演習を含む)すると卒業(人間科学)となります。ただし、124単位の内、最低30単位は「スクーリング履修」(インターネット授業または会場スクーリング)の方法で取得する必要があります(3年次編入の場合は62単位の内、16単位以上)。年間48単位(コースによっては52単位)まで履修が可能なので、たくさん学びたい方は4年間で192単位まで履修できます。

1年次入学 無理なくじっくり学びたい方に

修業年限▶4年間(在学年限8年)
対象者▶高等学校卒業(見込みも含む)もしくはこれと同等以上の大学入学資格をお持ちの方

「大学卒業資格を取得したい」「生涯学習として教養を深めたい」。4年間でたくさんの授業を受講できるので、学ぶ楽しさも実感できます。

3年次編入学 短期間で学びたい方に

修業年限▶2年間(在学年限6年)
対象者▶短大や専門学校を卒業・修了した方(見込みも含む)1つの大学に2年以上在学し、62単位以上取得後、中途退学した方など

短大や専門学校を卒業した方でも、「大学で本格的に学びたい」というニーズが高まっています。本学ではそうした要望に応え、正科生として3年次編入学制度を実施しています。

■ 卒業に必要な単位数 (平成29年度の場合)

区分	種別	卒業要件単位数
基礎科目	必修	1(1)
コア科目	必修	16(8)
統合科目	選択必修	8以上*
分野別科目	こころ・精神の理解	選択必修 4以上
	からだ・保健の理解	選択必修 4以上
	文化・社会の理解	選択必修 4以上
総合演習	選択必修	8(4)
教職課程科目		

[1年次入学の場合] 計124(30)以上 ※必修・選択必修で45(13)単位。残り79(17)単位は、自由に選択して単位修得を行います。

[3年次編入学の場合] 計62(16)以上 ※必修・選択必修で45(13)単位。残り17(3)単位は、自由に選択して単位修得を行います。

※1 修業年限：本学を卒業するために必要な学修期間
※2 在学年限：本学学生として籍をおくことができる期間
* いずれも休学期間は含まれません

※ 必要単位数は変更になる可能性があります。
※ ()内は、スクーリング履修単位
* うち心身健康科学概論T(2単位)必修

あなたが学びたいことに合わせて様々な履修モデルやコースを選ぶことができます

養護教諭養成コース

(1年次入学・3年次編入学)

「保健室の先生」を目指す方に

養護教諭は、学校の保健管理や保健教育を担当する専門家であるとともに、児童・生徒のからだ・こころの健康を守るやりがいのある仕事です。養護教諭となって子どもの心身の健康を守ることを使命とした方のためのコースです。卒業時には学士(人間科学)も取得できます。

▶このコースの詳細は本学 HP にてご確認ください。

看護教員養成コース

(3年次編入学) コース内の「看護教員養成プログラム」を職業実践力育成プログラム(BP)として認定

看護師・准看護師・保健師養成所専任教員や看護学実習の指導者を目指す方に

「看護教員養成コース」は看護師・看護師・保健師養成所における専任教員を目指す方や、看護学生の看護学実習で実習指導をされる看護職の方が働きながら学ぶことのできる通信制のコースです。インターネット授業や学生ポータルサイト等のe-ラーニングシステムと、年間約30日間のスクーリング、2単位の看護教育実習での学修で科目を履修します。卒業時には学士(人間科学)も取得できます。

▶入学資格やコースの詳細は本学 HP にてご確認ください。

心身健康レクリエーター養成プログラム

(1年次入学・3年次編入学・科目等履修) 職業実践力育成プログラム(BP)として認定

レクリエーション活動の専門的かつ実践的な知識・技能・技術の修得を目指す方に

保健・医療・福祉に従事する方が、こころとからだに寄り沿うレクリエーション活動の専門的かつ実践的な知識・技術・技能を修得することを目的とする教育プログラムです。本プログラムで学んだ成果を地域保健活動、看護や介護、リハビリテーションの日常業務に取り込むことで、より効果的かつ建設的な保健活動、看護ケアや福祉サービスの提供、各種治療の実践が可能となります。

▶このプログラムの受講資格、プログラムの詳細は本学 HP にてご確認ください。

大学改革支援・学位授与機構への学士申請

(3年次編入学)

「学士(人間科学)」と

「専門分野の学士申請」を目指す方に

看護師、理学療法士、作業療法士、はり師、きゅう師、栄養士を養成する2年制以上の短期大学または専門学校(専修学校専門課程)高等学校専攻科を卒業した方は、本学卒業時に学士(人間科学)を取得するとともに、専門分野の学士申請に必要な科目を修得し、本学卒業後にご自身で申請することができます。

大学院(修士)への進学サポート

(1年次入学・3年次編入学)

本学では、『人間総合科学の探究』という科目の中で、丁寧な論文指導を行っています。この科目では、大学院(修士)への進学を希望する方が論文作成を通して研究を初歩から学ぶことができます。

※他にも様々な履修モデルプランがあります。

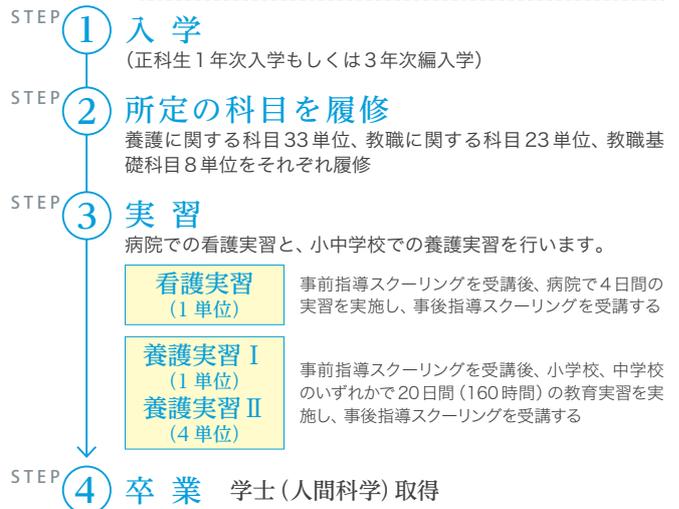
詳しくは本学 HP をご覧ください。



養護教諭一種免許状取得へのプロセス

出願時に予め登録

出願時に養護教諭養成コースに登録(通常の学費に加え別途12万円を納入)※入学後、途中からの履修も可能ですが、登録後原則2年間の学修が必要です。



養護教諭一種免許状取得

履修証明プログラム — 系統立てて学び、キャリアアップを目指す方に

2008年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。これは学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学修プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できるようになったものです。この履修証明制度は、教育機関等における学修成果を職業キャリア形成に活かす観点から、現在政府全体で検討・推進している「ジョブ・カード制度」においても、「職業能力証明書（ジョブ・カード・コア）」として位置づけられています。履修証明プログラムとして開講する科目の単位を修得し、認証修得条件を満たした場合、履修証明書（Certificate）の交付を申請することができます。

在籍期間▶1年間
対象者▶大学入学資格を持つ社会人の方
もしくは正科生あるいは科目等履修生
※看護教員養成プログラムは正科生のみ。
認証取得条件▶各プログラムの所定の単位を修得してください。

ストレスマネジメント・プログラム

～ここからだの健康科学～

16単位

心身健康レクリエーター養成プログラム

18単位

※本プログラムの教育内容は、日本心身健康科学会および一般財団法人T&M久住財団との連携により構成されております。

看護教員養成プログラム

36単位

※本プログラムの履修対象者については、看護教員養成コースの学生募集要項をご確認ください。

※各プログラムのカリキュラムについては、学生募集要項および本学ホームページをご確認ください。

科目等履修生

半期で興味のある科目だけ学びたい方に

まずは興味のある科目だけ学びたいという方には科目等履修生での学修が最適です。学修期間（在籍期間）は半年間、24単位を上限として、「総合演習」など一部の科目を除き、開講科目から自由に選択して履修することができます（本学卒業生は、総合演習および心身健康レクリエーター養成プログラムと看護教員養成プログラム・看護教員養成プログラムの一部科目を除く全ての科目の履修が可能です）。

在籍期間▶半期（半年）
対象者▶満18歳以上の方

科目等履修生から正科生へ

大学入学資格を有していない方（高等学校を卒業されていない方など）でも、科目等履修生として右表の科目の中から各分野にわたり計16単位以上を修得すると、本学の心身健康科学科正科生としての入学資格が得られます（満18歳以上の方）。入学の際、既修得単位はすべて認定されます。

■心身健康科学科正科生入学資格取得のために必要な単位数

区分	科目	単位数	履修条件
人文	人間観	4	1科目以上 修得
	比較文化論	2	
	東洋文化論	2	
	西洋文化論	2	
	比較芸術論～日本の美術～	2	
	日本仏教の世界	2	
社会	英語～速読演習～	2	1科目以上 修得
	地域の福祉	4	
	高齢社会と福祉・医療～高齢者の生活・健康・ケア～	4	
	いのちの文化人類学	2	
自然	法学（日本国憲法）	2	1科目以上 修得
	地球の環境問題	4	
	地球・生命・文化の歴史	4	
	地球と生命の誕生	2	

合計で4科目16単位修得 ※科目は変更になる場合があります。

学士申請プログラム

大学改革支援・学位授与機構では、高等教育のさまざまな学修成果を評価し、大学卒業者と同等水準の学力があると認められる学修者に、学位の授与を行っています。3年制専門学校を修了するなどの『基礎資格』を有している方が、所定の期間に本学の科目を履修して、必要な単位を修得することにより学位修得の申請が可能になります。大学改革支援・学位授与機構にご自身で申請を行い、機構の審査に合格すると「学士」の学位が授与されます。

在籍期間▶1年間
取得可能学位と対象者▶

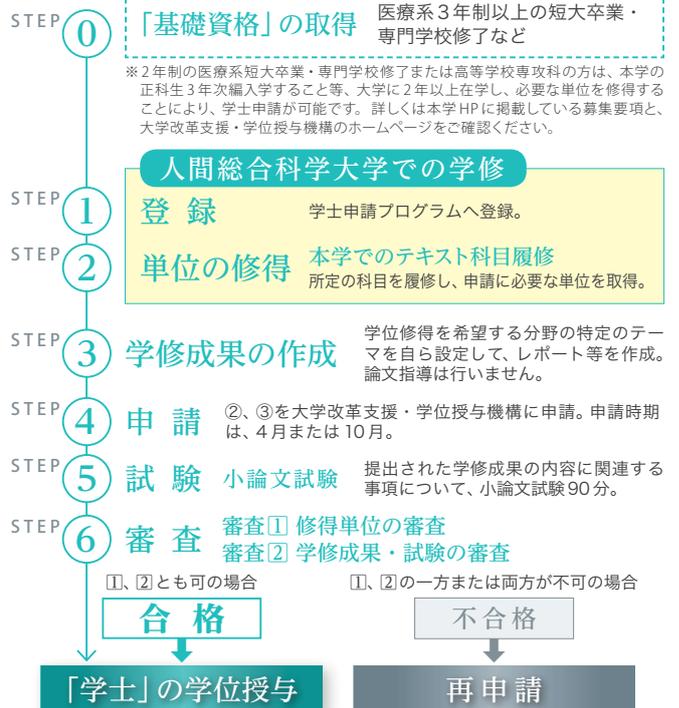
取得可能学位	対象者（以下の基礎資格を有する方）
学士（看護学）	看護師
学士（鍼灸学）	はり師、きゅう師
学士（保健衛生学） 専攻区分：理学療法	理学療法士
学士（保健衛生学） 専攻区分：作業療法	作業療法士
学士（栄養学）	栄養士

※詳細は本学HPの募集要項にてご確認ください。

※学士申請プログラムはすべてテキスト履修となり、スクーリング履修の科目はありません。



学士申請プログラムによる 学士の学位授与申請へのプロセス



不足単位等を修得し再申請。
試験のみ不合格の場合は再試験

人間総合科学大学の学修システム

履修科目を選ぶ

100以上の履修科目から人間の本質に迫る

本学では約100科目もの多彩なカリキュラムを開講。複合的な視点や思考を養う統合科目や、「こころ」「からだ」「文化」の3領域に配置された分野別科目から、自分の目的や興味に合わせて自由に科目を選択することができます。

同一科目を「テキスト履修」と「スクーリング履修」の両方で受講した場合、両方の単位を取得できます。

Tは「テキスト履修」、Sは「スクーリング履修」にて取得できる単位です
 ○：インターネット授業で実施する科目
 ●：インターネット授業と会場スクーリングが選択可能な科目
 ★：会場スクーリングで実施する科目
 ☆：学外での実習等が必要な科目
 -：スクーリングを実施しない科目

分野	科目	単位数		スクーリング履修 受講スタイル
		T	S	
基礎科目 (大学入門ゼミ は必修)	英語～速読演習～	2		—
	情報処理演習	2		★
	論文の書き方	1		●
	大学入門ゼミ	1		○
コア科目 (必修)	人間科学概論	2	2	●
	行動科学概論	2	2	●
	生命科学概論	2	2	●
統合科目 (選択必修 心身健康科学 概論T [2単位]を含み 合計8単位以上)	心身健康科学概論	2	2	★
	人間科学論～人間と環境～	2	2	○
	健康科学論	2	2	●
	ストレスと健康	2	2	●
	心身医学	2	1	○
こころ・精神 の理解 (選択必修 4単位以上)	生命倫理学	2	1	○
	人間関係論 ～精神分析を基礎として～	2	2	○
	発達心理学	2	1	○
	青年期心理学	2	1	○
	産業心理学	2	-	—
	社会心理学	2	-	—
	交流分析～自己理解を深め、 社会生活に役立つ～	2	1	○
	カウンセリング論	2	2	●
	カウンセリング実践	2		★
	現代家族論	2	-	—
	心の防衛機制と反応	2	-	—
	心理学概論	2	-	—
	心理学研究法	2	-	—
	心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ	各1		★
	心理検査法実習Ⅰ・Ⅱ	各1		★
	臨床心理学実践	2		★
	精神保健	2	-	—
	精神看護	4	1	○
	コミュニティ心理学	2	2	●
	心理統計学Ⅰ T	2	-	—
心理統計学Ⅰ S	2		○	
心理統計学Ⅱ S	2		○	
教育心理学(学習と発達)	2	-	—	
高齢期心理学	2	-	—	
人間理解へのアプローチ	1		○	
人間発達学	1		★	
からだ・保健 の理解 (選択必修 4単位以上)	身体の構造と機能	2	2	●
	栄養と代謝	2	1	○
	脳科学論	2	1	○
	病気の成り立ち	2	1	○
	臨床薬学	2	-	—
	保健学	2	-	—
	女性のからだと健康	2	-	—
	高齢者のからだと健康	2	-	—
	自律神経生理学	2	1	○
	運動生理学	2	1	○
環境とホルモン	2	-	—	

分野	科目	単位数		スクーリング履修 受講スタイル
		T	S	
からだ・保健 の理解 (選択必修 4単位以上)	健康教育概論	2		—
	応用看護学～感情と看護～	2		—
	老化・寿命の科学 ～人はどうして老いるのか～	2		—
	免疫学(アレルギー)	2	1	★
	予防栄養学	2	1	—
	生命と遺伝子	2	1	—
	高齢者の健康増進	2	-	—
	成人看護学	2	-	—
	生活習慣と健康	4	-	—
	看護学概論 T	4	-	—
	リハビリテーション概論	2	-	—
	スポーツ障害学	2	-	—
	基礎から学ぶいのちの科学	2	-	—
	老年看護～老年期の身体・精神 心理・社会的変化と健康問題～	2	-	—
	地域保健	2	-	—
	クリティカルケア ～成人看護の視点～	2	-	—
	緩和ケア～成人看護の視点から～	2	-	—
	障害からの回復 T	2	-	—
	細胞といのちの営み	2	-	—
	レクリエーション理論・実践	1		★
文化・社会 の理解 (選択必修 4単位以上)	セラピューティック レクリエーション概論	1	-	—
	子どもを対象とした レクリエーション実践	1		★
	障がい者と高齢者のためのレクリエーション・ スポーツ(リハビリテーション体育)	1		★
	リラクゼーション実践	2		★
	比較文化論	2	2	●
	東洋文化論	2	-	—
	日本文化論	2	-	—
	日本仏教の世界	2	1	○
	宗教人類学	2	-	—
	人間観	4	-	—
地域の福祉	4	-	—	
高齢社会と福祉・医療 ～高齢者の生活・健康・ケア～	4	-	—	
医療職と生涯学習	2	-	—	
伝承医学	2	-	—	
現代の養生訓	2	-	—	
食べもの学	4	1	—	
地球と生命の誕生	2	-	—	
いのちの文化人類学	2	-	—	
地球の環境問題	4	-	—	
異文化コミュニケーション	4	-	—	
地球・生命・文化の歴史	4	-	—	
教育学概論	2	-	—	
法学(日本国憲法)	2	-	—	
プレゼンテーション論	1	-	—	
リーダーシップ論	1	-	—	

分野	科目	単位数		スクーリング履修 受講スタイル
		T	S	
文化・社会 の理解 (選択必修 4単位以上)	食文化論	2		—
	地球規模での微生物と人間	2		—
	野外レクリエーション実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各1		★
総合演習 (選択必修)	人間総合科学の理解Ⅰ・Ⅱ	4	4	特
	人間総合科学の探究Ⅰ・Ⅱ	4	4	特
教職課程科目 (養護教諭)	教職概論	2		—
	教育課程論	1		—
	教育方法論	1		—
	道徳教育指導論	2		—
	特別活動論	1		—
	生徒指導論	2		—
	教育相談	1		—
	教職実践演習	2		★
	養護実習Ⅰ	1		★
	養護実習Ⅱ	4		★
学校保健	2		—	
養護概説	2		—	
健康相談活動	2		—	
看護実習	1		★	
体育Ⅰ	1		—	
体育Ⅱ	1		—	
体育Ⅲ	1		★	
体育Ⅳ	1		特	
特別講義	UHASセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	各1		—
学士申請 プログラム (プログラム受講生 のみ履修可)	文明科学概論	4		—
	発達心理学	4		—
	ストレスと健康	4		—
	心理学概論	4		—
	運動生理学	4		—
	生命倫理学	4		—
看護教員 養成コース (プログラム受講生 のみ履修可)	看護論	1		—
	看護論演習	1		★
	看護教育論	1		—
	看護教育制度	1		—
	看護教育課程論	1	1	★
	保健師教育課程概論	1	1	★
	看護教育課程演習	2		★
	保健師教育課程演習	2		★
	看護教育方法論	2	1	★
	看護教育方法演習	3		★
	看護教育実習	2		★
	専門領域別看護論	1		—
	専門領域別看護論演習	2		★
	地域看護論演習	1		★
看護教育評価論	1		—	
看護教育評価演習	1		★	
研究方法	1	1	★	
看護学校管理	1		—	
専門領域別看護論演習(保健師)	1		—	

※上記は2017年度開講科目です。最新の情報はホームページでご確認ください。
 ※一部の科目に受講定員を設ける場合があります。

学修システム 02 履修科目を選ぶ

時間も場所も自ら選ぶ そして自由に学ぶ

一人ひとりのライフスタイルに合わせて学べるよう、本学ではスクーリング履修のインターネット化を実現。テキスト履修と組み合わせ、いつでも、どこでも、あなたの都合に合わせて、より自由に学ぶことが可能になりました。

出願～卒業までの流れ

本学の学修スタイルは、一貫して学生の学びやすさを重視。インターネットを利用した授業や科目修了試験、担任制度など、出願から卒業まで学びやすく継続しやすい環境やシステムを整えて、あなたの学びをしっかりサポートします。

入学のチャンスは2回

●前期(4月)に加え、後期(10月)入学も可能。4月に間に合わなくても、1年待たずに入学できます。

●学修は、テキスト履修とスクーリング履修を組み合わせで進めます。スクーリング履修は、一部の科目を除いて、便利なインターネット授業での受講が可能です。



ネット学修



テキスト履修

テキストを読んで課題を提出する、通信教育課程の基本的な学修スタイルです。課題や質問に対しては、教員が丁寧に添削指導や質疑応答を行い、学修理解をサポートします。

- テキスト課題は選択式の問題のみです。60点以上で合格となり、科目修了試験の受験資格が得られます。
- webから申請。
- 60点以上で合格となります。



写真や図を使って解説した「オリジナルテキスト」

●教員が指導計画に沿って執筆・編集した通信制専用のオリジナルテキストです。写真やチャート、模式図によって、複雑な内容も視覚的でわかりやすく理解できるように配慮されています。また、学修のねらいが示されており、自宅学修でも目標をもって取り組むことができます。

*市販教材を使用する科目もあります。

各章のポイントがわかる「学修のねらい」



図解や写真を使用してわかりやすく

大事な単語は赤字にして表記

質問も課題提出も、インターネットで

●自宅学修での疑問点は、UHAS@Myキャンパスから教員へ直接質問。課題提出や履修登録も、インターネットを活用すれば時間の短縮につながります。



Pick up!

全国どこでも受験できる「インターネット試験」

科目修了試験は自宅にいながら試験が受けられる「インターネット試験」が用意され、自宅が大学の試験場となります。学びやすさを追求した学修システムが単位修得をしっかりサポートします。

- 科目修了試験の日程は前期と後期にそれぞれ10日間の試験期間が設けられ、試験期間内であれば24時間いつでも受験が可能です*。
- インターネット環境等が整っていれば、自宅でも旅先・出張先でも受験が可能で、他の予定を犠牲にすることなく単位が修得できます。
- 本学ホームページ等で、使用するパソコンが受験可能な環境であることを必ずご確認ください。

*試験初日9:00～最終日23:59までです。(追試は2日間)
*実施内容は変更になる場合があります。



インターネット試験画面

スクーリング履修

仕事などで忙しい時はインターネット授業、日程が合う時は会場スクーリングと科目毎に受講スタイルを選んで学べます。正科生は半期毎の定額授業料なのでスクーリング履修の科目を何科目受講しても追加費用は不要（前期・後期合わせて48単位まで）です。安心してたくさん学べます！

インターネット授業

総合演習等を除き、卒業に必要なスクーリングはすべてインターネット授業で履修することが可能です。

いつでも、どこでも、くり返し授業を受講できる！

「働きながら学びたい」「時間に縛られずに学びたい」「場所が遠いのでスクーリング出席が難しい」…。そんな声に応えた学修システムです。スクーリングを自宅でインターネットを利用して受講できます。24時間いつでもどこでも皆さんのライフスタイルに合わせて学ぶ事ができます。



インターネット授業の流れ



インターネットから簡単受講申請

●Web申請システムからインターネット授業の受講申請もスムーズに行えます。

トライアル版授業

●大学のホームページで、3つのインターネット授業のトライアル版を体験できます。実際の授業の雰囲気をつかみたいという方は、ぜひお試しください。



学修システム—03—学修方法を知る

会場スクーリング

実験・実習・教職関連科目などは会場スクーリングでの実施となります。またコア科目なども会場スクーリングが選択可能となっています（P.8参照）。

指定された日程・会場で、教員から直接指導を受けます。会場スクーリングは、独学ではなかなか伝わらない科目の本質や魅力を発見できる重要な場といえます。もちろん、学ぶ仲間が集う貴重な交流の場でもあります。



会場スクーリングの流れ



会場スクーリングの時間割例

- 2単位科目は金・土・日等の連続した3日間で実施されます。
- 1単位科目は金・土や土・日等の連続した2日間で実施されます。

	1日目	2日目	3日目
2単位科目	9:00～19:00	9:00～19:00	9:00～13:30
1単位科目 (前半開講)	9:00～19:00	9:00～12:00	
1単位科目 (後半開講)		13:00～19:00	9:00～16:00



再履修も可能（正科生のみ）

●会場スクーリングは科目によって1年間に1～2回受講の機会（例外あり）がありますので、出席できなかったり、試験に合格できなかった場合は、次の半期に再度履修登録の上、受講が可能です。本学は年間定額制の学費体系のため、その場合も別途費用は不要です。また、仕事が忙しかったり、引越などで会場スクーリングへの参加が難しくなった場合でも、インターネット授業も開講している科目であれば翌期にインターネット授業で登録する事で、再履修することができます。

総合演習

人間総合科学大学での学びの集大成として、総合演習があります（本学では卒業論文は選択制です）。指導教員と相談しながら、本学で学んできた成果を形にします。



考える力を養う 「総合演習」

●本学では「総合演習」を、一人ひとりが学んださまざまな知識を「よりよく生きるための知恵」に転換するための重要な科目群として位置づけています。大学で学んだことを通して、皆さん自身が問題意識を持って身の回りを眺め、問題そのものを発見し、整理して解決方法を考え、表現するなかで、「人間とは何か」という人間の本质を見極める視座を育成するための最終プログラムが総合演習です。

■「総合演習」サポート

本学では以下の専門スタッフがバックアップします。質問や相談はポータルサイト(UHAS@My キャンパス)から、24時間送ることができます。

指導教員 ▶ 総合して考える楽しさと奥深さを伝えます。達成感を共有しましょう。

サポート係(事務局) ▶ 総合演習の相談窓口です。お気軽にご連絡ください。

図書館(司書) ▶ 文献・情報収集のお手伝いをします。

2つの科目から選べ、総合して考える力を身につけるための —「総合演習」—

①「人間総合科学の理解 I・II」

「こころ」「からだ」「文化」のつながりから、人間を総合的かつ科学的に理解するという方法を、論文形式ではなく、年4回の課題レポートの提出によって身につけていきます。最初は600字程度のレポートから始め、800字・1200字・2000字と段階的に徐々に増やしていくことで、文章力や表現力、言葉力を無理なく伸ばすことができます。問題意識をもって世界を眺めるという方法も併せて身につけることで「人間を理解する方法」を修得していきます。

②「人間総合科学の探究 I・II」

一般的に「卒業論文」と呼ばれるものを作成する科目です。専門的な指導教員によるマン・ツー・マンの指導を受けながら、問題意識の絞り込み、先行研究の把握、データや事例の収集・分析・考察といった探究を進め、最終的に**8,000字程度**の報告書を作成して提出します。大学院への進学や、医療系学士へのチャレンジ、科学的(客観的・論理的)思考の職場への適用、自身の問題解決能力の向上などを考えている人に適した科目です。

めざせる資格・称号



認定心理士

認定心理士(正式名称:日本心理学会認定心理士)とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と公益社団法人日本心理学会が認定した人のことです。日本心理学会認定心理士資格細則別表で要請されている単位を修得し、日本心理学会認定委員会に申請することにより認定されます。(同学会独自の制度であり、国家資格ではありません)



社会福祉主事(任用資格)

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員として任用される際に必要とされる資格(任用資格)であり、社会福祉施設職員等の資格にも準用されています。社会福祉に関する各法律に定められる援護又は更生の措置に関する事務を行うために、福祉事務所には社会福祉主事を必ず置く必要があります。社会福祉主事(任用資格)の取得方法は、社会福祉法第19条第1項で定められておりますが、本学では「精神保健」、「心理学概論」、「教育学概論」、「リハビリテーション概論」、「看護学概論」から3科目以上履修し、本学を卒業することにより取得できます(科目等履修生として履修したものは認められません)。



心身健康アドバイザー

心身健康アドバイザーは「こころ」と「からだ」の相関関係から個人の健康を考え、生活習慣の見直しや心の安定、QOL(生活の質)の向上をはかることを第一の目的としています。健康管理や予防のためにプライマリーな幅広い観点から健康づくりを支援するとともに、文化的視点や社会的観点からもアドバイスをし、人々の真の健康づくりに寄与する、日本心身健康科学学会が認定する称号です。(同学会独自の制度であり、国家資格ではありません)



医療系学士の学位

『大学改革支援・学位授与機構』では、高等教育のさまざまな学修の成果を評価し、大学卒業者以外の方々で、同等の水準の学力があると認められる学修者に対して学士の学位を授与しています。医療系専門学校や短期大学を卒業されるなど「基礎資格」を有する方は、本学で取得した単位を、申請に必要な所定の単位として学士(看護学・鍼灸学・保健衛生学[理学療法、作業療法の専攻あり]、栄養学など)を申請することが可能です。(P.6・7参照)。



養護教諭一種免許状

養護教諭とは、一般には「保健室の先生」といわれ、学校教育の現場で保健管理、保健教育を担当する専門知識を備えた教員です。主に保健室に常駐し、医療・看護・保健衛生などの幅広い知識により、けがや病気の応急処置、健康診断と保健指導を行います。最近では病気やけがばかりでなく、学業や友人関係、進学、家庭の悩みなどを抱えて保健室を訪れる児童・生徒が増えており、身体のみだけでなく、こころの面からのサポートが求められています。



看護師・准看護師・保健師養成所専任教員

看護師・准看護師・保健師養成所の専任教員として学生を教育したり、看護実習で指導をするなどします。本学の「看護教員養成コース」の「看護教員養成プログラム」は厚生労働省より看護教員に関する講習会として認定されています。このプログラムを修了すると看護師・准看護師・保健師養成所の専任教員として必要な研修を修了したことになり、修了証が交付されます。修了証の発行は3年次末(3月)です。看護教員養成コースは3年次編入学で、4月1日付の入学(前期生)となり、後期生の募集はありません。

WEB出願の手引き

—WEB出願の流れ—

心身健康科学科(通信制)の出願はインターネットを利用したWEB出願となります。以下の手順に沿って入力や書類の準備を進めてください。

Step

1

事前準備

本学ホームページにある「学生募集要項」を必ずご確認ください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンター等を用意してください。証明書類*は、発行に時間がかかる場合がありますので、できるだけ出願前に準備をしておいてください。

*証明書類等は出願する学生の種類によって異なります(卒業証明書、成績証明書等)。詳しくはホームページに掲載されている募集要項にてご確認ください。



心身健康科学科はインターネット試験やインターネット授業があるため、次の環境が必要となります

[インターネット接続環境]

ブロードバンド接続であること(ADSL、CATV、光回線など1.5Mbps以上)

[パソコン環境]

OS : Windows7(SP1)/Windows8、8.1(日本語版)/Windows10 ブラウザ : Internet Explorer 10以上
CPU : Pentium IV 1.7GHZ 以上もしくは同等のCPU その他 : Flash Player 14以上がインストールされていること / Microsoft Word、Excel、PowerPointがインストールされていること
メモリ : 1GB以上

[インターネット授業トライアル版の視聴]

上記の環境に加え、本学ホームページで「インターネット授業トライアル版」で視聴できることを確認してください。

[プリンターの所有]

Step

2

WEB出願のページへアクセス

WEB出願のページには、「人間総合科学大学のホームページ」からアクセスできます。

web出願はこちら

人間総合科学大学ホームページ
<http://www.human.ac.jp/>

※宛名ラベル等を印刷する必要がありますので、

プリンターに接続されているパソコン等で入力を行ってください。



人間総合科学大学 WEB出願ページ

Step

3

出願登録

希望する学生の種類の出願をクリックし、画面の案内に従って志望情報、志願者個人情報を入力します。



出願する学生の種類を選択します。



画面の案内に従って必要事項を入力します。



必要書類の確認とダウンロード、印刷します。

Step 4

出願内容の登録完了と検定料支払方法の選択



出願登録を完了し、入学検定料の支払方法を選択します。

- ① 出願番号を右記にメモし、画面を印刷します。
※出願内容、決済に必要な番号を後で確認する場合に必要です。
- ② お客様番号を右記にメモし、画面を印刷します。
※決済に必要な番号については、実際の画面でご確認ください。
- ③ 出願登録完了時に表示される宛名ラベルを印刷し、
必要書類の郵送時に封筒に貼付してください。

※出願に関する問い合わせの際に必要となりますので、下記または募集要項の記入欄のいずれかにも番号を必ず記入しておいてください。

出願番号	
お客様番号 (オンライン決済番号)	
確認番号	
収納機関番号 (金融機関ATMの際必要)	

※振込の際は上記番号の入力が必要となります。

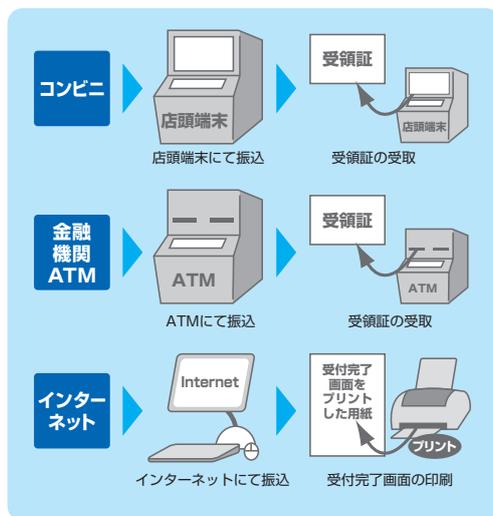
Step 5

検定料・選考料お支払い

入学検定料・登録選考料支払方法にて選択した、コンビニエンスストア店頭端末(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップ、デイリーヤマザキ、スリーエフ、セイコーマート)、金融機関ATM(ペイジー*)、ネットバンキング(ペイジー*)にて検定料・選考料をお支払いください。

(WEB出願登録から一週間以内)

※入学検定料の他に手数料が必要です。金融機関窓口では振込できません。
*ペイジーとは…入学検定料や税金・公共料金などの支払いを、金融機関窓口やコンビニのレジに並ぶことなく、パソコンや携帯電話、ATMから支払うことのできるサービスです。
詳しくはペイジーのHP (<http://www.pay-easy.jp/>) でご確認ください。



Step 6

必要書類の郵送 (WEB出願登録から一週間以内)

Step 4 で印刷した宛名ラベルを市販の封筒に貼付し、必要書類を封入して、簡易書留で郵送してください。



〈市販の封筒〉

封入

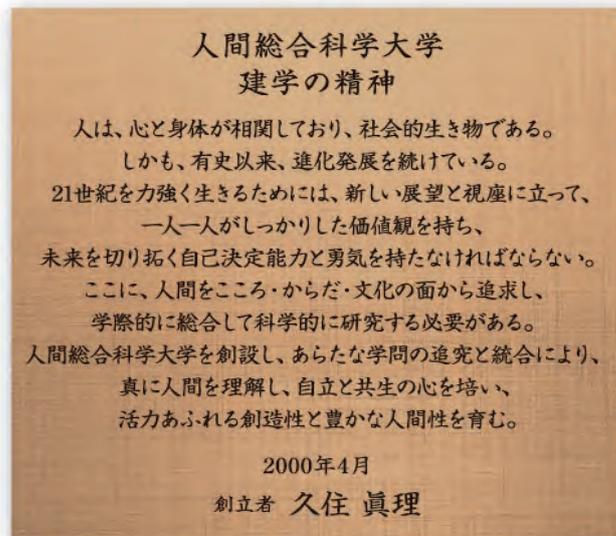
必要書類

宛名ラベルを貼付し、必要書類を封入する

※出願する学生の種類に応じた必要書類を同封してください。

人々の健康と幸福を支援する 人材育成が私たちの目的

本学園は今日に至るまで一貫して「人々の健康と幸福を支援する人材の育成」を目的として歩みを進めてきました。「真に人間を理解し、自立と共生の心を培い、活力あふれる創造性と豊かな人間性を育む」という建学の精神のもと、教育研究を発展させ、多くの医療職者をはじめその関連業務に携わる人々の生涯学習の場を築いています。これからも社会のニーズに対応しつつ、保健医療福祉分野に貢献する人材の育成に努めてまいります。



学校法人 早稲田医療学園 理事長
人間総合科学大学 学園長
医学博士 臨床心理学修士

久住 眞理

Profile

1993年に早稲田医療技術専門学校を設立、2000年に人間総合科学大学を創立。主な著書に「新時代の“学び”考」、[Health Sciences of Mind and Body]、[CLINICAL ACUPUNCTURE]、[運命を変える 心とからだの磨き方]、本学発刊の「心身健康科学シリーズ」ほか

2017年4月より人間総合科学大学学園長。

早稲田医療学園の沿革と組織

半世紀以上にわたり優れた保健医療人を輩出し続けてきました

人々の健康と幸福を支援する人材育成が私たちの目的です。

本学園は今日に至るまで一貫して「人々の健康と幸福を支援する人材の育成」を目的として歩みを進めてきました。「真に人間を理解し、自立と共生の心を培い、活力あふれる創造性と豊かな人間性を育む」という建学の精神のもと、教育研究を発展させ、多くの医療職者をはじめその関連業務に携わる人々の生涯学習の場を築いています。これからも社会のニーズに対応しつつ、保健医療福祉分野に貢献する人材の育成に努めてまいります。

沿革	
1953年	東京カイロプラクティック学院として創立 (開設学科)◎本科 ◎師範科
1972年	早稲田鍼灸専門学校に改称 (現人間総合科学大学鍼灸医療専門学校) (開設学科)◎東洋医療鍼灸学科 1991年4月 義肢装具学科を開設し、2003年 早稲田医療技術専門学校へ
1993年	早稲田医療技術専門学校を閉学 チーム医療を担う人材の育成 (開設学科)◎看護学科 ◎理学療法学科 ◎作業療法学科 ◎義肢装具学科
2000年	人間総合科学大学を開学 人間科学部 人間科学科を開設
2004年	人間総合科学大学大学院を開設 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程を開設
2005年	人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科を開設
2007年	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 博士後期課程を開設 早稲田医療技術専門学校 保健学科を開設
2009年	早稲田医療技術専門学校を人間総合科学大学鍼灸医療専門学校に校名改称 人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 健康栄養科学専攻 修士課程を開設
2011年	人間総合科学大学 保健医療学部 看護学科、リハビリテーション学科(理学療法専攻/ 義肢装具専攻)を開設
2016年	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程を開設
2017年	人間総合科学大学 人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科を開設

組織図	
人間総合科学大学	早稲田医療技術専門学校
<ul style="list-style-type: none"> 蓮田キャンパス 人間科学部 <ul style="list-style-type: none"> 健康栄養学科 心身健康科学科(通信制) ヘルスフードサイエンス学科(食品健康科学) 岩槻キャンパス <ul style="list-style-type: none"> 保健医療学部 <ul style="list-style-type: none"> 看護学科 リハビリテーション学科 <ul style="list-style-type: none"> 理学療法専攻 義肢装具専攻 	<ul style="list-style-type: none"> 保健学科 日本心身健康科学会 人間総合科学 心身健康科学研究所
人間総合科学大学 大学院	事業提携校
人間総合科学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京健康科学大学ベトナム 海外学術提携校 <ul style="list-style-type: none"> ● カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(アメリカ)(California State University, Long Beach) ● 南カリフォルニア健康科学大学(アメリカ)(Southern California University of Health Sciences) ● 北京中医薬大学(中国)(Beijing University of Chinese Medicine) ● プラパー大学(タイ)(Burapha University) ● ハイズオン医療技術大学(ベトナム)(Haiduong Medical Technical University)
<ul style="list-style-type: none"> 心身健康科学専攻(通信制) <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士課程 ・ 博士後期課程 臨床心理学専攻(通信制) <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士課程 健康栄養科学専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士課程 	



未来を担う学生たちに「優しさ
誇りをもって、悠久の時を限りなく
羽ばたき続けるしなやかさと力強
さ」を身につけてほしいという願い
を込めて、両翼を広げた鶴を校章
にシンボライズしています。



蓮田キャンパス 人間科学部・大学院



■ 蓮田駅への所要時間

- ▶ 大宮から → 10分
- ▶ 上野から → 37分
- ▶ 東京から → 50分
- ▶ 新宿から → 42分
- ▶ 横浜から → 75分
- ▶ 羽田空港から → 90分
- ▶ 宇都宮から → 69分
- ▶ 高崎から → 88分

■ 蓮田駅から

- ▶ 徒歩 → 13分

東京サテライト 人間科学部・大学院



■ 御茶ノ水駅への所要時間

- ▶ 東京から → 4分
- ▶ 大宮から → 40分
- ▶ 羽田空港から → 37分
- ▶ 横浜から → 35分
- ▶ 千葉から → 45分

■ 御茶ノ水駅から

- ▶ 徒歩 → 2分

学生募集要項は本学ホームページに電子パンフレットとして掲載しています。
また、出願はWEB出願となりますので、詳しくは本学ホームページをご確認ください。

文部科学省認可 通信教育課程

人間総合科学大学

人間科学部 心身健康科学科 [通信制]
人間科学部 健康栄養学科 / ヘルスフードサイエンス学科 [通学制]
保健医療学部 看護学科 / リハビリテーション学科 [通学制]
(理学療法専攻・義肢装具学専攻)

大学院 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 [通信制]
人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 [通信制]
人間総合科学研究科 健康栄養科学専攻 [通学制]

蓮田キャンパス

〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288
[お問い合わせ] TEL: 048-749-6111 (土曜・日曜・祝祭日を除く 12:00~17:00)
FAX: 048-749-6110
e-mail: admin@human.ac.jp

<http://www.human.ac.jp/>

人間総合

検索

東京サテライト

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル5F
TEL: 03-5577-6728 (月曜・木曜・祝日除く 9:00~17:00) FAX: 03-5577-6729

ホームページへは、スマートフォンや携帯からでも簡単にアクセス
QRコードに対応したカメラ付き携帯電話をお持ちの方は、右のコードから簡単にアクセスできます。

